

はなやま暮らし

[Vol.034] 2021.1.15

栗原市 地域おこし協力隊
花山地区 活動広報誌

[発行人] 栗原市花山地区地域おこし協力隊
さわはた まなぶ (澤畑 学)
つつい やすはる (筒井 保治)

[連絡先] 一般社団法人はなやまネットワーク
花山農山村交流センター ☎ 0228-43-5111



昨年中は、
並々ならぬご厚情を賜り、
厚く御礼申し上げます。
本年も昨年同様、
ご指導の程
宜しくお願い致します。
皆様のご健康とご多幸を
お祈り申し上げます。

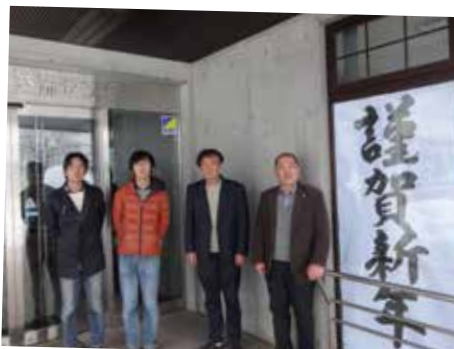


本年も
どうぞよろしく
お願いいたします



2021年も、
花山農山村交流センター
(ふるさと交流館)
を拠点に活動いたします！

4月下旬には、湖畔のみせ旬彩も
冬季休業を終えて再開予定です。
ぜひお立ち寄り下さい♪



つつんの 農作業日記 シーズン2

第10話

～農閑期の内に…の巻～



冬の間には畑を片付けて耕して…と思いきや、雪で畑は当然ながら手付かずのままになってしまいました…。

かといってボーっとしていても仕方がないので、農繁期に酷使した軽トラのメンテナンスをしたり、家で黙々と自然薯用の畦シートを切り出したり、年間の計画を組んだり、今のうちに出来ることをやっています。

いかんせん一人だったり、トラクターがまだなかったり、天候に左右されたりと、思うように進まない部分もありますが、来年度は自然薯を増やしつつ、お借りしている5反の畑を極力活用して、量を作ることで、売り先を開拓していくことを視野に取り組んでいます。

花山 冬の風景



「住みたい田舎ベストランキング」東北エリア総合1位！

地方への移住をテーマにした雑誌「田舎暮らしの本」(宝島社)が年1回実施している「住みたい田舎ベストランキング」の2021年版のランキングが発表され、栗原市が東北エリア総合部門1位にランクインしました！

このランキングは、単なる「人気度ランキング」ではなく、自然環境や日常の住環境、子育て支援策の充実度のほか、移住希望者の受け入れ態勢・移住者実績などのアンケートの回答内容をポイント化し、回答した全国の645自治体を比較した結果となります。

栗原市は、昨年の東北エリア総合2位から1つ順位を上げて、2019年以来2年ぶりにエリア総合1位に返り咲き。これで2017年から2021年まで、5年連続で東北エリア総合部門ベスト3にランクインしました。

花山でも、年間数組ずつではありますが、移住してきてくださる方が徐々に増えてきています。この歩みをさらに加速させていけるよう、はなやまネットワークでも引き続き、移住・定住促進の取り組みを進めていきます！



花山は移住体験住宅があるなど、栗原の移住施策でも重要な役割を担っています。



移住者同士の交流の場も設けています。
(2019年11月)



昨年中から、どのような形で開催ができるか、検討を重ねてまいりましたが、現在も新型コロナウイルス感染拡大が続いている現状などを鑑み、今年度の実施は中止することといたしました。

また来年度以降、多くの方に「花山いなか時間」を体感していただけるよう、これからも取り組みを進めていきます。



(写真は昨年実施した際の様子です)



雪っこまつりも中止が決定

2月20,21日(土,日)に実施予定だった雪っこまつりも、コロナの影響で中止となりました。

今年はまたとない積雪状況だっただけに、余計に残念でなりません…。来年はにぎやかな子どもたちの声がまた戻ってきますように…！



(写真は一昨年実施した際の様子です)

★ パソコン・スマホ相談 ★

お気軽にお越しください！

旬彩で行ってきたパソコン・スマホ相談を、3月までの間は交流センターで実施しています。

旬彩では相談しづかった、月曜日は行けなかった、という方もぜひご活用ください！



1月28日(木)、
2月9日(火)、25日(木)
13:30～15:30
(予約等は必要ありません)



※機器の修理などには対応していません。
※専門的な内容など、ご要望にお応えできない場合もあります。
※他の業務の状況により対応が難しい場合や、急遽実施をキャンセルする場合がありますので、予めご了承ください。

オンライン座談会を実施しました

県の「移住・定住推進連携事業」の一環として、農業・農泊などで生業づくりを目指す栗原市内の協力隊3名をゲストに招いたオンラインイベント(座談会)を12月21日(月)に実施しました。

それぞれがどのような思いを持って栗原に来たのかや、これからの展望など、様々なお話を伺うことができました！

